熊谷スマートシティ推進支援等業務委託
公募型プロポーザル競争選定結果について

熊谷スマートシティ推進支援等業務委託を実施するに当たり、プロポーザル競争によりその契約の相手方となる契約候補者を下記のとおり選定した。

記

1　業務委託名　熊谷スマートシティ推進支援等業務委託

2　契約候補者　有限責任監査法人トーマツ

3　全提案者の名称（申込受付順）

富士通Japan株式会社　埼玉支社

有限責任監査法人トーマツ

日本電気株式会社　関東甲信越支社

4　全提案者の評価点（得点順）

審査項目	満点	契約候補者	A	B
(1)実施体制、スケジュール、業務実績	60	53	54	44
(2)部会等運営・連絡調整に関する支援業務	120	120	102	95
(3)補助金申請書等作成支援業務	120	105	118	91
(4)次年度以降のスマートシティ推進に係る計画等作成支援業務	60	60	45	41
(5)協議会総会の運営・連絡調整に関する支援業務	60	52	55	43
(6)その他有益な提案	60	58	48	38
(7)提案価格	120	118.8	118.2	120
合　計	600	566.8	540.2	472
順　位		1	2	3

5　契約候補者の選定理由

契約候補者である有限責任監査法人トーマツは、提案内容が市の上位計画や部門別計画等との整合を長期的に担保していたことや、ファシリテーター型支援の提案が具体的であり導入効果が想定しやすかったことなどについて高い評価を受け、審査項目の合計で９割を超える評価を受け、最も優れた提案であった。

6　熊谷スマートシティ推進支援等業務委託プロポーザル審査委員会委員及び選任理由

所属（所属）	選任理由
大島　英司（副市長） 丸山　英道（市長公室長） 長谷川　秀明（総合政策部企画課長） 竹村　英紀（総合政策部デジタル推進課長） 金子　克彦（産業振興部商業観光課長） 市原　倫子（市長公室政策調査課スマートシティ担当副参事）	適正かつ適切な選定のための見識を有するものとして、熊谷市ＤＸ推進本部副本部長を務める副市長を始め、熊谷市のスマートシティ政策やスマートシティに係るサービスの実装担当部署及びＤＸ推進に携わる者から選任した。